

小中一貫教育

9年間の学びと育ちをつなぐ

義務教育9年間の子どもの姿を教職員全員が共有し、効果的でつながりのある学習や活動をする中で、必要な知識や資質を育むことができるようにします。

中学校区において小中連携事業を進めるに当たり、令和2年度からは、牧之原小・中学校を指定校として研究を行っていきます。

キャリア教育プログラム

キャリア教育を通して、自己理解、コミュニケーション力、課題発見・解決力、実行力など、主体的に自分の未来を切り拓くために必要な力を付けていきます。授業やさまざまな活動の中で発達段階に応じて段階的に力を付けることができるよう、9年間のプログラムを作成します。現在、主幹教諭や教務主任を中心に検討を進めています。



小中学生と一緒に体育祭に参加



中学生による読み聞かせ



地域の人と昔の遊びを体験

コミュニティ・スクール

地域と学校と一緒に子どもを育てる仕組みとして、コミュニティ・スクールを導入します。

コミュニティ・スクールは、地域の人々が学校の運営に関わり、学校の方針を承認したり、学校をより良くするための手立てと一緒に考え、実行したりする仕組みです。令和2年度の立ち上げに向け、現在、萩間小学校、勝間田小学校、相良中学校がモデル校として準備を進めています。各校には「CSディレクター」というコーディネーターを置き、地域との連携や会議の準備などを行います。



勝間田小学校のCSディレクターの鈴木さん（左）

「望ましい教育環境のあり方に関する方針」の説明をします

自治会やPTAなどの集まりの際に、方針についてのお話をする機会をいただける場合は、教育総務課まで連絡してください。集まりの場に職員が出向き、方針について説明をさせていただきます。

学校再編計画

キャリア教育を軸とした小中一貫教育とコミュニティ・スクールを進め、よりよい教育施設とするために、学校再編計画をつくります。「安心・安全の確保」や「教育活動の充実が図れること」を大事な視点として、令和2年度末までに計画が策定できるよう検討を進めています。

未来に輝く子どもを育む

平成31年3月に策定した「牧之原市望ましい教育環境のあり方に関する方針」の実現に向け、子どもたちの「次代を切り拓く力」を育むことができるよう、現在、必要な教育環境や教育プログラムなどについて具体的な検討を行っています。

問い合わせ 教育総務課 石川 ☎2642

キャリア教育

市では、社会がどのように変化しても、子どもたちが自分の未来を自分で選択し、培った力を発揮して豊かな人生を送ることができるよう、「キャリア教育」を軸とした「小中一貫教育」と「コミュニティ・スクール」の導入に向けた取り組みを進めています。

文部科学省では、キャリア教育を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現することを促す教育」として定義しており、市としても、キャリア教育を「生き方教育」としてとらえています。

キャリア教育を行うことにより、従来の基礎学力だけではなく、主体性やコミュニケーション力など、社会で生きていくために大切な資質・能力を身に付けることを目指します。